

皆様、お久しぶりです。

3年9組森島敬義先生のクラスを卒業しました筒木潔です。

1年生の時は鈴木正夫先生、2年生の時は吉田光宏先生に担任して頂きました。

今日は吉橋さんから「あなたが一番遠くから出席するから挨拶してほしい。」とのことで、僭越ながら、引き受けさせて頂きました。

今日は、私の妻は三谷温泉で愛教大付属中学校の同年会があるとのことで出席しております。そちらの会の方の幹事も吉橋さんの弟さんだそうで、夫婦一緒に偶然同じ日に帰郷できるように手配して頂き、心より感謝しております。

さて、高校在学時代を振り返ってみますと、もう遠い昔になってしまってほとんど思い出せないのですが、私の家は六供の浄水場のふもとにあって、菅生川を隔てて北の山から南の山まで、毎日自転車か徒歩で通学していました。菅生川の堤防、六所神社横の坂付近の風景がきれいだったこと、行きも帰りも坂登りが大変だったことを思い出します。

高校での勉学の思い出としては、鈴木正夫先生（あだ名は歌奴）の次々に指名して質問する独特な英語の授業、中島陽明先生のエネルギッシュな世界史の授業、森島先生のわかりやすく丁寧な数学の授業などが記憶に残っています。

高校時代の課外活動は、地歴同好会、弁論部、生徒会活動などを行いました。運動の方は苦手だったので運動部には入りませんでした。

地歴同好会では、黒部正夫先生に三河のあちこちの史跡に連れて行って頂きました。弁論部では川合さん、星野さん、城所さんと一緒でした。3人で大会前に大きな声をだして練習しあったことを覚えています。生徒会では、秋田さん、中島さん、谷川さん、加藤さんなどと一緒でした。どの活動も皆良い思い出になりました。

さて、卒業後は、名古屋大学の農学部に入りました。一緒に農学部に入ったのは高須さんと畔柳さんでした。4年生になって土を研究する土壌学教室に入り、その選択が生涯の私の進路となりました。

大学の課外活動としては、名大混声合唱団に入り、一時は勉強よりも頑張って課外活動をしていました。大学卒業後は、大学院に進学しました。なんとなく一番自分に向いているような気がしたためでした。

大学院では続けて土壌学を専攻し、修士と博士課程を終えましたが、当時、大学はポストが非常に不足していた時代で、上にも同年にもポストを探している仲間がたくさんいる状態でした。そこで、私は博士課程を終えてしばらくしてから、フィリピンの国際稲研究所に博士研究員として海外修行にでることにしました。

フィリピンに行く時期とほとんど同じ頃に、結婚しました。妻は岡崎高校と名古屋大学農学部の4年後輩でした。妻は岡崎高校では私と同じく鈴木正夫先生や森島敬義先生、黒部先生の授業を受け、大学では私の副指導教授の先生に担任してもらったという経歴があり、偶然私とよく似た

道を辿ってきました。そこで、彼女はあまり乗り気ではなかったようですが、私がしつこくお願いした結果、結婚してもらえることになりました。

フィリピンでの任期を終えたあとは、当時はまだ西ドイツだったハンブルグ大学の土壌学研究所で博士研究員として研究を続けました。ドイツで1年半研究した頃、母校の名古屋大学でポストが空き、応募して古巣へ帰ることができました。その頃はもう2人の子供ができていました。

名古屋大学で6年半勤めたあと、帯広畜産大学に転任することになりました。帯広畜産大学で土壌学のポストが空いて、そのポストに昇任するかたちで是非来てくれと頼まれたので、行くことにしました。妻も反対せずに同意してくれたので、スムーズに転任することができました。

帯広に来てからどこにも移動せず、もう28年がたちました。帯広で3人の子供を育て、子供達は皆独立し、今では5人の孫がいます。去年の3月に退職しました。帯広は田園都市で、ジャガイモや小豆の重要な産地です。住宅地の周りにもまだ自然が多く残り、散歩をほとんど毎日楽しんでます。

岡崎から帯広に行くルートとしては、東京まで新幹線で行き、羽田から帯広空港まで空路で行く方法と、名古屋セントレア空港から新千歳空港まで空路で行き、そこからJRあるいはハイウェイバスで行く方法があります。8月中には1ヶ月間だけですが、JALが名古屋と帯広空港の間の直行便を運航しています。帯広にはとくに名所ありませんが、温泉などでのんびりするには良いところだと思いますので、是非いつかおいでいただけたらうれしく思います。